

「布おむつの排泄介助について」

2年7組 1番 赤木 慎吾

2年7組 32番 平井 奏子

実習施設：リバーパレス流山

問題設定

1. 布おむつでの、介助の仕方について知りたかったから。
2. 生命を維持するために、必要な排泄行為で利用者の身体的な苦痛を感じさせず、介助者も安全で安楽に、できるためにはどのような方法があるか、また、どのような利点と欠点があるか知りたかったから。

介護の実際

Aさん

- ・立ちオムツ
- ・車いす使用
- ・便意、尿意なし
- ・円背
- ・手すりにつかまれば立位可能
- ・布おむつ使用

①車いすを手すりに近づける

※近すぎたり、遠すぎたりせず、それぞれの利用者の体格や身長に合わせ行う。

②衣服の着脱

③便座に座ってもらう（座位確認）

- ・介助者は車いすを引き、膝折れし転倒しないよう支える。

④自分で拭ける方には、トイレットペーパーを切って渡す（残存機能維持のため）

- ・朝は人肌の温度くらいのお湯で洗浄する。
- ・臀部、陰部を清拭で拭き皮膚の確認

⑤利用者に手すりをつかまらせ、衣服の着脱。

⑥車いすを利用者に近づけ、ゆっくり座ってもらう。

⑦排泄物の観察

Bさん

- ・寝たきり
- ・右上肢と両下肢の拘縮。
- ・意思疎通が難しい。
- ・胃瘻あり。
- ・布おむつ使用。

- ①必要物品を用意する。
- ②声掛けをし、ベッドの高さを調節する。
- ③衣服の着脱。
- ④布おむつを外す。
- ⑤陰部の洗浄
- ⑥利用者の方を側臥位にし、臀部の洗浄、皮膚の確認。
- ⑦古い布おむつの下に、新しい布おむつを奥に入れる。
- ⑧利用者の方を逆の側臥位にして、古い布おむつをとる。
- ⑨胃瘻のチューブに気を付けながら、布おむつをし、衣服の着脱。
 - ・褥瘡予防で、クッションを使用する。
- ⑩顔色の確認と、ベッドの高さを調整する。

※powerpoint 参照

考察

＜布おむつ＞

- 利点**・布の汚れていない部分で、臀部をふくことができ、また利用者の排泄感覚が保ちやすい。
 - ・布おむつのほうが安価で、コストの削減になり再利用できる
 - ・肌触りがよく肌荒れしにくい
 - ・
- 欠点**・カバーをしっかりしめないと、布が緩んでしまう
 - ・再利用しているので、衛生面であまり良くない
 - ・立ちおむつの時は手間がかかり、介助者と利用者の双方に負担がかかる



利用者それぞれの状態に、応じた介助の仕方を見つける。
拘縮や麻痺のある方の、おむつ交換の難しさや注意すべき点を介助者がよく理解していなければ安全で安楽な介助はできない。

参考文献：川井太加子/生活支援技術Ⅰ基本編/株式会社/メヂカルフレンド社/平成24年2月10日

布おむつの排泄介助について



実習施設：リバーパレス流山
2年7組1番 赤木 慎吾
2年7組32番 平井 奏子

問題設定の理由

- 布おむつでの、介助の仕方について知りたかったから。
- 生命を維持するために、必要な排泄行為で、利用者の身体的な苦痛を感じさせず、介助者も安全で安楽に、できるためにはどのような方法があるか、また、どのような利点と欠点があるか知りたかったから。



介護の実際

Aさん

- 便意、尿意なし
- 立ちおむつ
- 車いす使用
- 円背
- 手すりにつかまれば立位可能
- 布おむつ使用

Bさん

- 胃瘻あり
- 意思疎通が難しい
- 寝たきり
- 右上肢と両下肢の拘縮
- 布おむつ使用





考 察

利点

- 布の汚れていない部分で、臀部をふくことができ、また利用者の排泄感覚が保ちやすい
- 布おむつのほうが安価で、コストの削減になり再利用できる
- 肌触りがよく肌荒れしにくい

欠点

- カバーをしっかり締めないと、布が緩んでしまう
- 再利用しているので、衛生面であまり良くない
- 立ちおむつの場合は手間がかかり、介助者と利用者の双方に負担がかかる

このことから

- 利用者それぞれの状態に、応じた介助の仕方を見つける。
- 拘縮や麻痺のある方の、おむつ交換の難しさや注意すべき点を介助者が理解していなければ安全で安楽な介助はできない。

ご静聴ありがとうございました。